

第16回 日本ホリスティックナーシング研究会 in KOBE

Japanese Holistic Nursing Association (JHNA)

「看護における“快”を考える」

ホリスティックナーシングとは、身体(BODY)だけでなく心(MIND)と魂(SPIRIT)あるいは霊性(SPIRITUALITY)をも包括し、社会や自然環境との調和の中で生きている全体的(ホリスティックな)存在としてケアする看護です。人はどんな時も自然環境にうまく順応しようと、試みながら生きています。しかし病い人となると「病気を治す」という目的のもと治療が優先されるため、人に備わる順応性を生かして回復や改善を導いていくのには、看護師のケアが重要な役割を果たします。ところが看護師は、痛い、だるい、苦しいという「不快情動」に伴う訴えに対して看護援助を考えることはできますが、心地よさといった「快情動」に目を向けて看護を考える機会は非常に少ないのが現状です。この16回研究会では「看護における“快”は何をもたらすのか」を皆さんと一緒に考え患者が持つ治癒力を育てるケアの在り方を探求してみたいと思います。

日時：2014年8月31日(日) 9:00~16:00

場所：大学共同利用施設 **UNITY** (神戸市営地下鉄学園都市下車3分) **どなたでもご参加頂けます**

【参加費】 (1)非会員 ¥8,000 (2)会員 事前申込 ¥6,000 (3)会員 当日 ¥7,000

【申込,お問合せ】 ☎ jhna-kobe@hcpro.jp へお名前・☎・メールアドレスをお知らせ下さい

9:00~ 9:10 会長挨拶

京都橘大学大学院看護学研究科教授小坂橋喜久代

9:10~10:10 教育講演 1

江川幸二「看護におけるコンフォートを考える(仮)」
神戸市看護大学教授 療養生活看護学領域 急性期看護学分野

10:15~11:15 教育講演 2

小森久照 「精神科領域における補完代替医療の可能性(仮)」
三重大学医学系研究科 看護学科 成人・精神看護学教授



11:15~12:15 昼食・総会

12:15~13:00 ポスターセッション

13:00~14:50 シンポジウム

「看護における快を考える ~においとかがおり~」

梶原睦子(山梨県立大学 看護学部看護学研究科教授) /加藤京里(東京女子医科大学看護学部) /相原由花(ホリスティックケアプロフェッショナルスクール学院長)



15:00~15:50 ワークショップ

ハワイの伝統的な歌舞音曲であるフラ(ハワイ語:hula)の中で、カヒコと呼ばれる神にささげる神聖な古典フラは、宗教的な行為でもあり、日本の能楽と同様、単なるダンスや音楽の概念では捉えられないものです。クム(師匠)であるカオル ケアラアヌヘアオアラニ マエダ先生自らカヒコフラを踊ってくださいます。迫力のある祈りの舞を、どうぞ心で感じてください。

15:50~16:00 閉会の挨拶